



中興化成工業(株)

代表取締役社長

しょう の なお ゆき
庄野 直之 氏

フツ素樹脂製品等の製造販売を行う。2020年に開場した「カンセキスタジアムとちぎ」の屋根材として、同社のフツ素樹脂屋根膜材が使用された。「フツ素樹脂は耐熱性、絶縁性、耐薬品性、滑り性、非粘着性、耐候性という特長があり、一般的なプラスチックと比べ、非常にユニークな特性を持っています」と話す。こうした特性を生かし、国内外の競技場や駅の屋根などに使用されるほか、ロケットのエンジン部分や半導体の製造装置など幅広く使われている。

半導体の製造過程では、硫酸や塩酸など強い薬液を使用するため、薬液をためるタンクやチューブなど接触する部品の多くに、耐薬品性を持つフツ素樹脂製品が使用されるとい

う。このように、半導体事業や医療関連事業をはじめとした多くの分野でフツ素樹脂の需要が伸びており、供給不足が懸念されていた。そこで昨年12月、製造強化を目的として宇都宮工場に新工場を竣工（しゅんこう）。「半導体や医療事業

は、日本が競争力を持ち続ける分野であり、それは将来的にも変わらな

く『責任』と考え、『世界のフツ素屋』としての誇りを持って仕事をしよう

と社員に呼び掛けています」宇都宮工場が完成して24年。初め

「製造業は、技術・資金・土地があるだけでは駄目で、そこに人がいなければ勝てません」と説く。かつて宇都宮工場は三拍子がそろっていたが、人が欠けていた。「でも今は四拍子がそろった。これで勝てなければ意味がありません。企業は、とにかく挑戦し続けることが大切。常に先回りをして時代を待ち伏せる、そんな気概で挑戦を続け、市場をリードする存在でありたいと思っています」

誇り高く『世界のフツ素屋』



新工場「宇都宮 WEST WING」



中興化成工業株式会社

〒107-0052

東京都港区赤坂2-11-7 ATT新館10階(本社)

〒322-0302

鹿沼市深程990-13(宇都宮工場)